

令和5年度 上尾市立大石北小学校 学校評価（自己評価結果）

〈学校評価の自己評価とは〉学校評価は、児童がよりよい教育を受けることができるよう、学校が自らの教育活動の成果を検証し、学校運営を改善し、その教育水準の向上を図ること、また、自己評価を公開し、保護者・地域の皆様の御理解を得て、学校・家庭・地域とが連携して児童を育てていくことを目的としています。学校評価の実施は学校教育法に定められています。自己評価は、児童・保護者に実施したアンケートを参考資料として、作成しています。詳細は、「教職員・保護者・児童のアンケート結果」をご覧ください。

〈評定の基準〉

A：目標をよく達成できた状態（達成度9割以上） B：目標はほぼ達成できたが改善が必要な状態（3・4の達成度7割以上） C：目標を達成できず、顕著な課題がある状態（達成度7割未満）

領域	学校評価項目	自己評価	評価
A 信頼される 学校運営	1.学校は、教育活動を年間計画に基づいて適切に実施している。	1 「教育活動計画」については、学校行事や校外学習なども制限なく実施ができ、「主体的・対話的で深い学び」を目指した教育活動を、指導計画に基づき実施しました。児童の98%が「学習にしっかりと取り組んでいる」と回答しており、落ち着いた学習状況にあります。次年度もよりよい教育活動となるよう、学校行事の実施時期などを見直し、指導計画を工夫していきます。	A
	2.教職員は、校務分掌を協力して実施している。	2 「組織的な校務分掌」については、教職員は95%が評価しています。	
	3.学校は、積極的な生徒指導・教育相談・特別支援教育を推進している。	3 生徒指導については、「積極的に認め、褒める」対応を組織的に行いました。教育相談等については、保護者は90%、児童は85%で「相談ができる」としています。今後も引き続き、相談しやすい対応に努めていきます。また、96%の児童が「思いやりの心をもち友だちに接することができる」としています。特別支援教育については、特別支援教育コーディネーターを中心に、個別のニーズに応じて「個別の学習支援計画」の作成や教育相談を行いました。また、アップイー学習支援員が個に応じた支援をしています。	
	4.学校は、基本的な人権を尊重する教育（いじめ防止・体罰禁止）を推進している。	4 いじめ認知を積極的に行うことで、早期対応と未然防止に努めました。いじめの認知件数は、1月末時点で86件でした。保護者からの相談は、児童同士のトラブルについては数件あり、「体罰等に関する調査」では1件の指摘がありました。相談等にはその都度対応し、教職員には人権を尊重した教育活動に関する研修も実施しました。	
	5.学校は、働き方改革を積極的に進めている。	5 教職員の働き方については、校内では校務支援システム・電話対応時間の設定等で、業務の効率・集中を進め、教職員の在校等時間の改善がみられました。効率化が図られる一方、19%の教職員が「話し合う時間の不足」を挙げており、効率と充実のバランスを図ることが今後の課題です。	
	6.教職員は、高い使命感をもって指導している。	6 99%の児童が「先生はよいことは褒め、悪いことは正してくれる」としており、全教職員が職責を理解して使命をもって指導しています。今後も、引き続き、情熱をもって指導にあたります。	
B 安心安全な 教育環境	7.学校は、安全教育を適切に実施されている。	7 安全教育については、地震・火事の避難訓練を実施するほか、警察署と連携した不審者に対する避難訓練も実施しました。また、学年に応じた交通安全教室を実施しました。96%の教職員が「適切な対応」を評価しています。	A
	8.学校は、安全点検を行い改善がなされている。	8 安全点検については、92%の教職員が評価しています。毎月、教職員による安全点検を行い、老朽化による瑕疵や扇風機・クーラーなどの不具合の修繕を行いました。また、学校運営協議会委員による安全点検も実施しました。	
	9.教室・特別教室等は、整理整頓されている。	9 整理整頓については、保護者95%、教職員83%、児童77%の評価で、整理整頓にさらなる努力が必要です。今年度、PTA・学校応援団の協力を得て2回実施した「くすのきクリーンデー」では、清掃のほか不要物の処分も行いました。今後も、学校環境の整理整頓に努めていきます。	
	10.児童は、清掃活動に熱心に取り組んでいる。	10 清掃については、98%の児童が「しっかりと取り組んでいる」としています。話をせず、一生懸命に掃除をする姿がみられます。	
	11.児童は、安全に登下校している。	11 登下校の安全について、毎学期、通学班会議、一斉下校を実施するほか、「北小安全の日」を年間5回設け、教員による下校指導を行いました。98%の児童が「安全に気を付けて登下校できた」としています。日頃から、地域見守りボランティア、PTAの皆様による通学路見守りをいただいております。交通事故がなく登下校できています。	
C 豊かな 教育活動	12.教員は、PDCAサイクルで基礎的な学力向上に努めている。	12 基礎的な学力向上については、指導方法を工夫し、学力調査などにも成果がみられました。94%の児童が「宿題を進んでいる」としています。基礎的な学力は、学習規律や学習意欲とも関連があるため、個に応じて粘り強く指導していきます。	B
	13.学校は、ICTを活用し、学びのイノベーションを推進している。	13 ICTの活用については、授業では、学年に応じて、日常的に一人一人の考えを記述したり、考えを共有したりして、多様な場面で活用しています。3～6年でICT端末の持ち帰り、オンラインドリルなどの使用も定着しました。保護者、児童とも89%が、効果的な学習について評価していますが、情報モラル教育は教職員の回答は79%に留まり、今後もさらに充実が必要です。	
	14.学校は、外国語教育を系統的に実施している。	14 外国語の授業では、児童88%が「進んで話したり聞いたりしている」としており、ALTと協力した指導が行われています。授業以外では、英語による給食メニュー紹介、休み時間にALTと活動する「イングリッシュパーク」は27回実施するなど、新たな取組も行いました。	
	15.学校は、体験的な学習を実施している。	15 体験的な学習は、校外学習のほか、外部講師を招いて郷土学習・防災学習・音楽鑑賞など新たな取組も行い、教職員・保護者・児童とも、高い評価となりました。	
	16.学校は、今日的な課題に対応した教育を実施している。	16 今日的な課題に対する校内研修については、教職員は9割を超える評価となりました。情報セキュリティなどの教育については保護者回答は81%に留まり、さらなる充実が必要です。	

D 健全な児童の育成	17.教師は、学習規律を繰り返し指導し、児童は落ち着いて学んでいる。	17 学習規律については、学校全体で基準をもって繰り返し指導を行いました。児童96%が「生活のきまりを守って生活している」としています。今後も、基本的なよい生活習慣の定着に向け、家庭と連携して落ち着いた学習環境をつくっていきます。	A
	18.学校は、児童にあいさつ・返事を繰り返し指導している。	18 あいさつ・返事については、教職員・保護者・児童とも88%で、評価が一致しています。コミュニケーションの基本として、声に出して、相手に伝えることを、今後も家庭・地域と連携して進めていきます。	
	19.学校は、児童に読書習慣を身に付けさせている。	19 読書については、教職員・保護者・児童の評価が異なります。学校では、図書室の貸出冊数は昨年度よりも1.3倍ほど伸び、隙間時間に読書をする児童の姿が見られます。外部講師による「お話会」も2回実施しました。読書に関して児童は69%、家庭での読書は61%に留まっています。引き続き家庭と連携した読書活動の充実を図ります。	
	20.学校は、健康教育を適切に実施している。	20 健康教育については、食育・健康に関するお便りを発信する他、発育測定時の指導や地域学校保健委員会での助産師による講演会を実施しました。児童96%が「手洗い・歯磨きをしっかりとやっている」としており、これからも家庭と連携した健康教育を進めていきます。	
E 保護者・地域連携等	21.情報が適切に発信されている。	21 お知らせや教育活動については、さくら連絡網やHPで発信し、92%の保護者が「わかりやすく伝えている」としています。今後も必要な情報が適切に伝わるよう努めます。	B
	22.保護者・地域の相談・意見に誠実に対応している。	22 保護者・地域の相談や意見については、管理職までの共有を基本として、迅速かつ誠実な対応に努めています。情報共有については、保護者85%に留まっており、今後も丁寧な対応に努めていきます。	
	23.学校運営協議会は適切に運営されている。	23 学校運営協議会は、年間4回の会議のほか、学校行事へ参加をしていただきました。会議では学校運営に対する率直な意見交換がなされ、お話会、安全点検などの新たな取組も加わるなど、学校運営の充実につながりました。また、今年度は委員によるメッセージの発信を行いました。教職員・保護者の理解や公開は84%に留まり、今後も理解が深まるよう工夫してまいります。	

「教職員・保護者・児童アンケート結果」

	教職員評価	肯定的評価の割合		保護者アンケート結果	肯定的評価の割合		児童アンケート結果	肯定的評価の割合	
		92%	90%		92%	90%		98%	90%
A 信頼される学校運営	学校教育目標の共通理解は図れているか。	92	○	1.学校の指導計画や行事計画がわかりやすく発信されている。	92		1.先生や友達の話聞き、学習にしっかりと取り組んでいます。	98	
	全体計画・年間計画に基づいた指導を実践できているか。	90	○						
	次年度に生かす評価を實踐し、改善するようになっているか。	95	○						
	教育活動に対して課題をもち、達成をめざす組織になっているか。	93							
	学年・学級相互の連絡が円滑で、学校全体として意欲や力を発揮できる組織になっているか。	95	○						
	分掌ごとの話し合いができており、組織が機能しているか。	90	○				2.困ったときには、先生に相談しています。	85	
	いじめ・不登校・問題行動等の未然防止対策及び速やかな対応は行えたか。	89	○	2.困ったときには、学校に相談することができている。	90		3.誰にでも思いやりの心をもって、優しく接しています。人のいやがることを言ったりしりません。	96	○
	児童一人ひとりのよさや可能性を大切にし、人権を尊重する教育に努めたか。	85					4.先生は、よいことは誉め、悪いことは正してくれれます。	99	
	勤務時間や休暇の取得等、ワークライフバランスに配慮した環境であったか。	96		3.教職員は、マナーアップに努めている。	95				
	日課や学校行事の精選、情報機器を活用した校務の効率化が図れているか。	81		4.学校は、施設・設備を整備し、学校事故防止に努めている。	93		5.廊下を走らず右側通行をしています。	91	
B 安心安全な教育環境	教職員としての職責を理解し、教職員事故に対して自分事として捉えることができたか。	89							
	事件・事故・災害に対し、全教職員が意思統一を回り、適切な対応ができていたか。	96		5.学校は、整理整頓がされている。	95		6.机やロッカーを整理整頓しています。	77	▲
	安全点検を計画的に実施し、行き届いた改善がなされているか。	92	▲				7.掃除や仕事にしっかりと取り組んでいます。	98	
	教室・特別教室等は、整理整頓がされているか。	83	▲	6.児童は、安全に登下校をしている。	90		8.安全に気を付けて、登下校しています。	99	
	熱や清掃や用具の使い方等の指導を継続して行い、清掃活動に取り組ませることができたか。	88					9.宿題を進んでしています。	94	
	学校全体で、下校時の見届けや安全指導を継続的に行うことができたか。	92	▲	7.学校は、児童がICT活用能力が身につくように効果的な指導をしている。	89		10.ICT端末を使って学習しています。	89	
	基礎・基本を確実に定着させる指導に取り組む、成果を上げることができたか。	100		10.学校は、情報セキュリティ教育など今日的な課題に対応した教育を実施している。	81		11.英語活動・外国語活動・外国語の授業で進んで話したり聞いたりしています。	88	
	ICT端末を使って、まなびポケットや北小ポータル等各種教材を活用し、児童の情報活用能力の育成を図ることができたか。	88		8.学校は、外国語教育を適切に実施している。	85		12.栽培や実験などに積極的に取り組んでいます。	93	
	オンライン教材等を活用して、情報モラル教育を進めることができたか。	79	○	9.学校は、植物の栽培や校外学習・外部教育力の活用など、体験的な学習を実施している。	93	○			
	ALTと協力して、英語活動・外国語活動・外国語を指導することができたか。	83	▲						
C 豊かな教育活動	授業や学校行事で児童に体験的な学習を実施することができたか。	100		11.学校は、家庭と連携して、児童に基本的なよい生活習慣が身につくように指導している。	89		13.生活のきまりを守って生活しています。	96	
	家庭や地域、学校応援団と協力・連携して児童に体験的な学習を実施することができたか。	96		12.児童は、家庭でもあいさつ・返事をしている。	87		14.自分から進んであいさつと返事をしています。	88	
	研修主題に沿った校内研修は計画的にできたか。	96		13.児童は、家庭でも読書をしている。	61		15.学級文庫や図書室の本をたくさん読んでいます。	69	▲
	校内研修の成果は、日常の教育実践に生かされ、活力ある教育活動が展開できているか。	92	▲	14.児童は、家庭でも手洗い・歯磨きをしっかりとっている。	91	▲	16.手洗い・歯磨きをしっかりとっています。	96	
	学習規律を繰り返し指導し、定着させることができたか。	100	○	15.学校は、さくら連絡網やおたより、HPなどをおして情報をわかりやすく伝えている。	92				
	「進んであいさつ」・「はっきりした返事」をする指導を継続し、定着させることができたか。	88	▲	16.学校は、連絡帳や電話・教育相談等とおして、情報共有を図っている。	85				
	図書室を積極的に活用したり、家庭や図書支援員と協力したりして、児童の読書習慣を育てることができたか。	92		17.学校運営協議会について情報が公開されている。	84				
	養護教諭や保健主事等と協力して、児童の健康教育を充実させることができたか。	96							
	学校は、教育方針、教育活動についてさくら連絡網や通信、HPを通じて、積極的に家庭・地域に伝えているか。	100							
	保護者から相談があった場合は、すぐに管理職や学年主任に報告するなど組織的に対応することができたか。	100							
学校運営協議会の議事録等について、理解していたか。	83								

桃色は90%以上で本校のよい点
水色は80%以下で来年度の課題